

## 自己評価表（学校法人森学園 ICT 専門学校）

令和 2 年 3 月 2 日

### 1、学校の教育目標

本校は、次に掲げる<教育理念>と<教育方針>を基盤とし、21世紀の高度デジタル社会を逞しく生き抜き、さらには「地域から世界へ」雄々しく羽ばたく即戦力の ICT 技術者の輩出を目標とし、今後も惜しみなく豊かな教育環境を提供して参ります。

#### （教育理念）

1. ICT 技術者を養成する事により、日本経済の発展に寄与する。
2. 青年にキャリア教育を施し、社会人としての責任を自覚させ、自己の夢を実現させる。
3. 友情・情熱・奉仕を合言葉に学生・教職員が一体となって研鑽をはかる。

#### （教育方針）

1. 社会で通用する専門的な教育を施し、ICT 技術者を育成する。
2. インターンシップや職場体験実習を積極的に活用し「企業」と「学生」を結ぶ「産学一体」体制を築くことで、教育現場への最先端技術の導入や企業の求める確かな技術力の提供をはかる。
3. 大学中退者や学卒未就職者であっても、いつでも、何度でもやり直しができ、実務レベルの技術が習得できる教育環境を提供する。
4. 学生達の独創的な発想の掘り起しで、ネット社会における世界と地域を結ぶグローバルビジネスの研究と育成をはかる。

### 2、本年度に定めた重点的に取り組むことが出来た必要な目標や計画

- ・ 学生数を増やす
  - 結果、2020 年度新入学生 日本人：7 名 留学生 24 名
- ・ 留学生のクラスでは、日本語能力の向上を目的とした教育強化
  - 日本語学校で約 20 年の実績をもつ、日本語講師（主任講師の経験のあり）のベテラン講師の採用。  
結果として、在学中の N1 取得の可能性が高まった。
- ・ 2 年生の就職、及び進路の決定
  - 全員が就職又は、別の進路が決定

### 3、評価項目の達成及び取組状況

#### 基準1：教育理念・目的・育成人材像等

	評価項目	点数
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか？	5
1-2	学校の特色は何か	5
1-3	学校の将来構想を抱いているか	4

※ 点数：適切・・・5、ほぼ適切・・・4、普通・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

#### ■課題と今後の改善方策

教育方針で、「社会で通用する専門的な教育を施し、ICT技術者を育成する。」としている。ICT技術の現場は日進月歩であり、常に最新技術を指導できる体制を強化する必要がある。

地元「明石」での高等学校、企業等と連携し、「企業」と「学生」を結ぶ「産学一体」体制を築いていくことにより、①の課題である教育現場への最先端技術の導入や企業の求める確かな技術力の提供をはかる。

#### ■特記事項

学校の特色としては、少人数制。

大勢の中で学習が苦手な学生には学びやすい環境となっている。

## 基準2：学校運営

	評価項目	点数
2-4	運営方針は定められているか	5
2-5	事業計画は定められているか	5
2-6	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	4
2-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	4
2-8	意思決定システムは確立されているか	5
2-9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

※ 点数：適切・・・5、ほぼ適切・・・4、普通・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

### ■課題と今後の改善方策

学生の出席率、成績管理は、システム化されてなくエクセル計算で行っている。

今後、システム化して業務の効率化をはかる必要がある。

→ 2年以内にWEBシステム化（学校内のみ運用）する。

### ■特記事項

意思決定システムとして、グループウェア、チャットシステムを活用することにより、朝礼のタイミングで情報発信出来ないことでも、リアルタイムに全職員と情報共有が出来る。

学生の個人情報管理について下記の様に行っている。

（データ管理）

データは暗号化しセキュリティー対策を行っている。

（書面管理）

鍵付きのロッカーで保管し、使用しないときは施錠して管理している。

### 基準3：教育活動

	評価項目	点数
3-10	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	5
3-11	修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	5
3-12	カリキュラムは体系的に編成されているか	5
3-13	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	5
3-14	キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	5
3-15	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
3-16	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
3-17	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5
3-18	資格取得の指導体制はあるか	5

※ 点数：適切・・・5、ほぼ適切・・・4、普通・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

#### ■課題と今後の改善方策

学生の能力・技術習得内容向上のため、更に実務経験のある優秀な講師（技術者）の確保を行う必要がある。

優秀な技術者確保のため待遇面、勤務時間等の向上を行う。

#### ■特記事項

少人数制で、一人一人丁寧に指導し、即戦力となりうる技術者を1名でも多く輩出する。

#### 基準4：教育成果

	評価項目	点数
4-19	就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	5
4-20	資格取得率の向上が図られているか	4
4-21	退学率の低減が図られているか	4
4-22	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4

※ 点数：適切・・・5、ほぼ適切・・・4、普通・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

#### ■課題と今後の改善方策

##### (日本人学生の資格取得)

現状、資格取得については、学生に対し強く受験を勧めていないが、今後は積極的に取得させるよう指導する。

具体的には、基本(応用)情報技術者、MOS、ネットショップ実務など、一定の努力が必要な資格への挑戦をさせる。

##### (留学生の資格取得)

就職率向上には高いレベル(N2、N1)の日本語能力の日本語能力試験資格取得が必要で一定の効果は得られているが、現状ではまだまだである。

日本語検定1級(N1)取得を目指した教育を行う。

学生の資格取得に対する意欲を引き上げる方策として、日々、授業の中や資格取得者の転職率(就職率)が如何に有利かを説明し理解させる。

#### ■特記事項

定期的な同窓会を検討する。

#### 基準5：学生支援

	評価項目	点数
5-23	就職に関する体制は整備されているか	5
5-24	学生相談に関する体制は整備されているか	5
5-25	学生の経済的側面に対する支援は整備されているか	5
5-26	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	5
5-27	課外活動に対する支援体制は整備されているか	5
5-28	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-29	保護者と適切に連携しているか	5
5-30	卒業生への支援体制はあるか	5

※ 点数：適切・・・5、ほぼ適切・・・4、普通・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

#### ■課題と今後の改善方策

キャリアサポート、キャリアデザインなど就職支援に関する指導の強化  
就職支援に関する指導には専門の先生を配置する。

→ 2020年4月より、専門の講師による指導を開始。

保護者との連携について、2019年度はあまり行えてなかった。

入学時、新学期スタート時には、学生本人と保護者、教師での三者面談を行う様にする。

#### ■特記事項

卒業生に関して、就職（転職）等の相談が現状でも可能であるが、それが出来ることを知らない卒業生もいると思われる。今後、卒業時には、このあたりの説明を行うよう  
る。

#### 基準6：教育環境

	評価項目	点数
6-31	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5
6-32	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	5
6-33	防災に対する体制は整備されているか	5

※ 点数：適切・・・5、ほぼ適切・・・4、普通・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

#### ■課題と今後の改善方策

もっと快適にデータ・教材活用を行うため、更にサーバー設備の強化を行いたい。  
クラウドももっと活用し、2020年度にはサーバー機器、ネット回線の強化も行う予定。

#### ■特記事項

防災訓練は年1回、必ず実施している。

#### 基準7：学生の募集と受け入れ

	評価項目	点数
7-34	学生募集活動は、適正に行われているか	5
7-35	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
7-36	入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行なわれているか	5
7-37	学納金は妥当なものとなっているか	5

※ 点数：適切・・・5、ほぼ適切・・・4、普通・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

#### ■課題と今後の改善方策

営業活動の方法とアプローチする高等学校、日本語学校を選出し、効率の良い営業活動を行う。

現状、教務担当、事務担当が兼任で営業活動をしているが、今後は営業スタッフの採用も検討している。(3年以内)

留学生については、レベルの高い学生（日本語能力、学習意欲、学費支払能力）のみ入学を許可していく。

留学生に関しては募集活動を京都、大阪にも広げ、従来の神戸を含め3都市で実施する。

#### ■特記事項

特になし



## 基準8：財務

	評価項目	点数
8-38	中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか	5
8-39	予算・収支計画は妥当なものとなっているか	5
8-40	財務について会計監査が適正におこなわれているか	5
8-41	財務情報公開の体制整備はできているか	4

※ 点数：適切・・・5、ほぼ適切・・・4、普通・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

### ■課題と今後の改善方策

次年度の計画を今よりも早く予算を早めに決める必要がある

留学生の学費回収について、未回収金が発生しないように以下の改善を行う

- 1、次年度より「支弁計画書」を書かせ、誰（学生？親？その他？）がいくら学費を支払うのか明確にする。
- 2、毎月一回、学費支払い状況を学生本人と確認し未回収金を減らす。

### ■特記事項

財務情報公開については、2020年4月1日までにホームページ上にて行う。

#### 基準9：法令等の遵守

	評価項目	点数
9-42	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-43	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	5
9-44	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
9-45	自己点検・自己評価結果を公開しているか	4

※ 点数：適切・・・5、ほぼ適切・・・4、普通・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

#### ■課題と今後の改善方策

自己評価、学校評価委員による学校評価を毎年1回行うようにすること。

#### ■特記事項

個人情報の保護に対する対策はしっかり行っている。

自己点検・自己評価結果の公開については、2020年4月1日までにホームページ上にて行う。

#### 基準10：社会貢献

	評価項目	点数
10-46	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	5
10-47	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	5

※ 点数：適切・・・5、ほぼ適切・・・4、普通・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

#### ■課題と今後の改善方策

学生が社会貢献、ボランティアに参加できるような場面を増やす必要がある。  
近隣の学校、企業、商工会議所などと連絡を密にし、社会貢献を行う場面を増やす。

#### ■特記事項

毎年、明石市内の小学校行事（餅つき大会）の手伝いとして、職員、学生が参加している。